

第1問

現在、日本には、多くのマンガ作品があふれています。発表媒体、発表形態も多岐にわたり、それぞれが細かくサブジャンル化して分かれたり、それらが融合したりして複雑な様相を呈しています。そんな中で、新人として自分のマンガを読者に届けるには、どういったルートを選ぶか、また、選んだルートの中でどのようにして注目されるか、さまざまな分析や戦略、工夫が必要とされます。

多くの場合に要求されるのは、メジャー性(読者にとってなじみやすいもの)と、独自の個性(新しさ・今足りないが潜在的に求められているものなど)の両方を備えている作品です。

最近あなたが描かれた、あるいはこれから描こうと思っている作品で工夫していることを、発表する場の歴史的な、あるいは最新の状況分析を交えながら、いかにそれに対応しているか、なるべく多岐にわたり具体的に記しなさい。

- ・ 字数制限なし。
- ・ 用紙は配付された「小論文 解答用紙」を使うこと。

第2問

第1問を踏まえ、メジャー性と独自性を共に打ち出した、多くの作品の中から注目を勝ち取れるような作品を一枚の絵で表現した魅力的なイメージイラストを描きなさい。

- ・ 用紙は配付された「イメージ画用紙」(A4) 1枚を使うこと。
- ・ 用紙の縦横の配置は自由とします。